

指定管理者評価シート

事業名	身体障害者福祉センター費	所管課(電話番号)	保健福祉局障がい保健福祉部身体障害者更生相談所(641-8852)
-----	--------------	-----------	-----------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市身体障害者福祉センター	所在地	札幌市西区二十四軒2条6丁目1-1
開設時期	A棟 昭和53年8月1日 B棟 昭和62年4月1日(増築)	延床面積	A棟 3,427.56㎡ B棟 1,848.75㎡ 合計 5,276.31㎡
目的	身体障がい者に関する各種の相談に応じ、身体障がい者に対し、機能訓練、教養の向上、社会との交流の促進及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各種相談(就職相談、結婚相談及び身の上相談)の実施 (2) 機能回復訓練、音声機能訓練、失語症言語訓練及びオストメイト社会生活訓練の実施 (3) 各種行事、活動育成事業、各種教養講習会やスポーツ教室の講習会等の実施 (4) 身体障害者福祉専用バスの運営事業 (5) 受付案内、図書コーナー等施設の利用等に関する業務 (6) 自主事業(食堂運営)の実施 (7) 障害者社会参加推進センター運営事業 (8) その他福祉センターの設置目的を達成するために必要な業務 		
主要施設	体育館、卓球室、研修室、第1～3会議室、音楽室、和室、大会議室、料理実習室、陶芸室、パソコン室、機能回復訓練室、水浴訓練室、各団体事務室(6室)、食堂、福祉用具展示コーナー		
2 指定管理者			
名称	公益社団法人 札幌市身体障害者福祉協会		
指定期間	平成28年4月1日～令和2年3月31日		
募集方法	非公募 理由:当該施設の設置目的と団体の設置目的が一致しており、関係団体との連携による効率的な運営を図ることができるため。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> (1) 総括管理業務 (2) 施設・設備等の維持及び管理に関する業務 (3) 施設における事業の計画及び実施に関する業務 (4) 障害者社会参加推進センター運営に関する業務 (5) 施設の利用等に関する業務 (6) 前各号に掲げる業務に付随する業務 		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和元年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
I 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理業務	<p>次の業務計画に則り、統括管理業務を行った。</p> <p>▽管理運営に係る基本方針</p> <p>(1) 札幌市の公の施設であることを常に念頭におき、市民の福祉の増進に努め、市民の公平な利用に供するよう管理運営を行うこと。</p> <p>(2) 施設の設置目的等に資するよう適切な管理運営を行うこと。</p> <p>(3) 「さっぽろ障がい者プラン」に定める目標の達成その他札幌市の障がい福祉政策との整合性を図りながら施設の管理運営を行うこと。</p> <p>(4) サービス水準の維持向上に努め、安定的かつ継続的なサービスの提供がなされるよう管理運営を行うこと。</p> <p>(5) 利用者や地域住民の声を常に把握し、施設の管理運営に反映させること。</p> <p>(6) 最少の経費で最大の効果を挙げるよう管理運営の効率化に努めること。</p>	基本方針に沿って、利用者本位の安全で安定した管理業務を遂行し、適切な運営に努めた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>管理業務仕様書に沿って、適切な維持管理が行われている。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								
	<p>▽平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>市民の障がい者福祉増進のための身近な存在として愛され、親しまれる施設として、障がいによる差別がなく、誰もが安心して利用できる施設運営を行うことが重要であると考え、次のことを基本に据え平等利用の確保を図る。</p> <p>(1) 人に優しく、心の通い合うサービスの提供</p> <p>(2) 誰もが分け隔てなく安心して等しく利用できる施設づくり</p>	明るくはきはきとした対応を心がける等、管理業務計画に沿って実施することができた。	適切に実施されている。								
	<p>▽地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進</p> <p>(1) 消灯や適正な温度設定を行うことにより、電気使用量、重油使用量の節約に努めるとともに、センター事務室で一括管理を行う。</p> <p>(2) 空調調和設備の冷暖房温度を夏26度・冬24度を基準温度として設定管理する。</p> <p>(3) ボイラーの負荷率を100%に設定管理し、ボイラーの不完全燃焼の防止を図る。</p> <p>(4) 所有する車両のアイドリングを可能な限り抑制し、排気ガス排出の減少を図る。</p> <p>(5) 職員に対し、温度管理への協力を強く求める。</p> <p>また、ロードヒーティングの使用電気料を抑制するため、気象情報を適切に把握し稼動する。</p>	環境配慮への意識を高めてエネルギーの節約に努め、計画どおり実施することができた。	適切に行われている。今後も引き続き、省エネルギーに向けた取り組みに努めること。								

<p>▽管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成・研修計画）</p> <p>(1) 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定め、職員が分掌事務を確実に行うことで安定した管理業務を遂行する。</p> <p>(2) 職員個々が市民サービスの向上、管理経費の縮減に意欲を持って取り組めるよう、安全衛生などを含め十分な労働環境を整える。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に行われている。今後もサービス向上に取り組むこと。</p>										
<p>▽管理水準の維持向上に向けた取り組み</p> <p>業務の見直しを日常的、継続的に取り組み、管理水準の維持向上に努める。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>										
<p>▽第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者の適切監督、履行確認）</p> <p>清掃、警備、各保守点検業務について、仕様書のとおり実施した。日々の業務について、日報の提出により履行確認を行った。</p>	<p>計画どおり実施することができた。市内企業、福祉団体を積極的に活用し発注した。</p>	<p>適切に実施されている。</p>										
<p>▽札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会の開催等）</p> <table border="1" data-bbox="254 889 1070 1759"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 令和元年6月28日</td> <td>・平成30年度札幌市身体障害者福祉センターの利用状況 ・令和元年度身障センター利用者アンケートの実施について</td> </tr> <tr> <td>第2回 令和元年10月31日</td> <td>・令和元年度の修繕、備品購入等の状況について ・令和元年度身障センター利用者アンケートの結果について</td> </tr> <tr> <td>第3回 令和2年1月30日</td> <td>・第2回運営協議会以降の修繕、備品購入等の状況について ・防災訓練の実施について</td> </tr> <tr> <td>第4回 令和2年3月27日</td> <td>・今後の新型コロナウイルス感染症の対応について ・今期指定管理業務の総括について</td> </tr> </tbody> </table> <p><運営協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市（札幌市身体障害者更生相談所） ・指定管理者（札幌市身体障害者福祉協会） ・利用者団体等（札幌市視覚障害者福祉協会、札幌市肢体障害者協会、札幌市中途失聴・難聴者協会） 	開催日	協議・報告内容	第1回 令和元年6月28日	・平成30年度札幌市身体障害者福祉センターの利用状況 ・令和元年度身障センター利用者アンケートの実施について	第2回 令和元年10月31日	・令和元年度の修繕、備品購入等の状況について ・令和元年度身障センター利用者アンケートの結果について	第3回 令和2年1月30日	・第2回運営協議会以降の修繕、備品購入等の状況について ・防災訓練の実施について	第4回 令和2年3月27日	・今後の新型コロナウイルス感染症の対応について ・今期指定管理業務の総括について	<p>3か月に1回以上の運営協議会の開催が求められており、計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。今後も引き続き、3か月に1回以上運営協議会を開催するとともに、札幌市及び各関係機関との連絡調整を密にし、利用者サービスや管理水準の維持向上に向けた取り組みを行うこと。</p>
開催日	協議・報告内容											
第1回 令和元年6月28日	・平成30年度札幌市身体障害者福祉センターの利用状況 ・令和元年度身障センター利用者アンケートの実施について											
第2回 令和元年10月31日	・令和元年度の修繕、備品購入等の状況について ・令和元年度身障センター利用者アンケートの結果について											
第3回 令和2年1月30日	・第2回運営協議会以降の修繕、備品購入等の状況について ・防災訓練の実施について											
第4回 令和2年3月27日	・今後の新型コロナウイルス感染症の対応について ・今期指定管理業務の総括について											
<p>▽財務（資金管理・現金の適正管理）</p> <p>(1) 他の業務と経理を明確に区分し、収支その他経理に関する記録等を整備する。</p> <p>(2) 指定管理に係る経費の収支については、独立した預金口座により管理する。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適正に処理されている。</p>										

<p>▽要望・苦情対応</p> <p>施設の管理に関する利用者その他の市民からの要望、苦情等に迅速かつ適切に対応し、その結果を札幌市に報告した。</p>	<p>改善できるところから取り組んだ。</p>	<p>今後も引き続き、利用者からの要望等に迅速かつ適切な対応を行うこと。</p>					
<p>▽記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）</p> <p>(1) 記録 業務の実施に関する記録・帳簿等を整備し、保管した。</p> <p>(2) セルフモニタリング 福祉センターの管理運営業務の実施状況及び利用者の声（利用者アンケート）について自ら監視・測定を行った。</p> <p>(3) 事業等の報告 協定で定めるところにより、「管理業務の実施状況報告書」等の各書類を札幌市に適宜提出した。</p> <p>(4) 札幌市の検査・確認・要請に対する対応等 施設の管理運営の一切に関する札幌市の検査・確認・要請等に誠実に対応した。</p> <p>(5) 事業評価 施設の利用状況、セルフモニタリングの結果等を踏まえ、札幌市が定めるところにより、管理業務の自己評価を行い、事業報告書の提出に合わせて札幌市に報告した。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>					
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>(1) 職員に対して、最低賃金861円（令和元年10月3日適用）を上回る1,353円（正規職員1,782円）以上の時給を支給している。</p> <p>(2) 職員が時間外労働・休日労働をした場合、法定割合の割増賃金を支払った。</p> <p>(3) 職員の労働時間は、週40時間、1日8時間を順守した。</p> <p>(4) 全ての職員は雇用保険、厚生年金、健康保険に加入し、必要な届出等も適宜適切に行った。 また、年1回定期健康診断を実施した。</p> <p>(5) 第三者委託により実施している業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>労働関係法令等を遵守しており、今後も同様であること。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽総括的事項（利用者等の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）</p> <p>(1) 利用者等の安全については、業務仕様書及び法令を遵守することにより確保した。</p> <p>(2) 拾得物の取り扱いについては、センター受付で保管し適切に管理しサービスの向上に努めた。</p> <p>(3) 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>管理業務仕様書に沿って、適切な維持管理が行われている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▽施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、外構緑地管理等）</p> <p>清掃、警備、設備保守点検業務等について、仕様書のとおり実施した。</p> <p>1階車庫監視カメラ移設、電動ろくろ防振ゴム取替、体育館電動カーテン修理、防災倉庫火災報知器設置、消火器更新、体育館アコーディオンカーテン取付等を行った。</p>	<p>安全かつ安定した維持管理業務を遂行した。左記のとおり、利用者の安全に配慮した整備を行った。</p>	<p>適切に業務履行がなされている。備品管理、修繕については常に点検等を行い、不具合等が発生した場合は迅速かつ適切な対応に努めること。</p>
<p><再委託業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調・給排水・衛生設備保守管理業務委託 ・警備業務委託 ・清掃業務委託 ・エレベーター保守管理業務委託 ・自動ドア保守点検業務委託 ・電話設備保守及び非常用呼出装置点検業務委託 ・自家用電気工作物保安管理業務委託 ・消防用設備等点検業務委託 ・塵芥処理業務委託 ・除排雪業務委託 	<p>再委託業者の決定にあたっては、指名競争入札、見積合せを実施して、透明性の確保を図った。</p>	<p>適切に実施されている。</p>
<p>▽防災業務</p> <p>11月及び2月に防災訓練を実施した。2月には避難訓練の他、元札幌市消防局職員に講和を依頼し、消火栓の取扱いの説明等、火災発生時の対応、心構えについて講和いただいた。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>

(4)事業の計画・実施業務

▽学習機会の提供業務

▽教養講習会等事業

利用者ニーズを反映した多彩な講座を展開し、身体障害者の生涯学習意欲の高揚を図った。

		平成30年度 回数／人数	令和元年度 回数／人数
創造的活動	生花教室	22 / 147	20 / 95
	短歌教室	11 / 73	11 / 67
	陶芸教室	48 / 193	44 / 120
	手芸教室（肢体）	24 / 195	20 / 178
	手芸教室（中失）	11 / 82	9 / 58
	絵画教室	23 / 203	22 / 182
社会適応活動	手話教室（中失）	43 / 1,120	36 / 963
	ペン字教室	21 / 232	19 / 209
	料理教室（肢体）	11 / 116	9 / 106
	料理教室（中失）	9 / 89	9 / 90
	英会話教室	35 / 303	32 / 253
	トータルコミ（中失）	6 / 194	3 / 103
レクリエーション活動	民謡教室	38 / 465	34 / 428
	カラオケ教室	11 / 56	11 / 72
	囲碁教室	38 / 510	32 / 374
	将棋教室	- / -	- / -
	茶道教室（肢体）	24 / 75	22 / 81
	健康づくり教室	4 / 32	4 / 29
総 計		379 / 4,085	337 / 3,408

3月は新型コロナウイルスの影響で開催することができなかったが、このことを除いては、計画どおり実施することができた。

A	B	C	D
適切に実施されている。今後も利用者の要望に応えるべく、新しい教室開設をさらに検討する等、利用者増加に向けた取組を行うこと。			

▽文化活動育成事業

障がい者の社会活動への参加促進と生きがいの高揚を目的に、自主的に活動している文化クラブに対して活動費の助成を行った。

平成30年度助成クラブ内訳

クラブ名	活動状況
壺石会	・毎週月曜日 13:00～17:00 ・日常的な囲碁研究や春期大会への参加。 ・施設、団体との交流会の実施。
陶芸クラブ	・第1・3火曜日 10:00～12:00 ・花瓶や壺などの製作実施及び文化祭での作品展示。

計画どおり実施することができた。利用者から興味あるクラブを見学したいとの問い合わせをいただいた。

適切に実施されている。

<p>▽スポーツ教室の開催</p> <p>スポーツを通じて機能回復訓練や健康・体力増進を図るとともに、社会への積極的な参加促進を図った。</p> <p>実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成 28年度</th> <th>平成 29年度</th> <th>平成 30年度</th> <th>令和 元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">卓球教室</td> <td>実施回数</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>315</td> <td>348</td> <td>257</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アーチェリー 教室</td> <td>実施回数</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>194</td> <td>41</td> <td>43</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水泳教室</td> <td>実施回数</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>24</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>257</td> <td>244</td> <td>122</td> <td>187</td> </tr> </tbody> </table>			平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	卓球教室	実施回数	24	24	24	22	延べ人数	315	348	257	227	アーチェリー 教室	実施回数	23	18	19	7	延べ人数	194	41	43	18	水泳教室	実施回数	40	39	24	37	延べ人数	257	244	122	187	<p>新型コロナウイルスの影響を除いては、計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。利用者の要望を把握し、活動内容の充実を図ること。</p>
		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度																																				
卓球教室	実施回数	24	24	24	22																																				
	延べ人数	315	348	257	227																																				
アーチェリー 教室	実施回数	23	18	19	7																																				
	延べ人数	194	41	43	18																																				
水泳教室	実施回数	40	39	24	37																																				
	延べ人数	257	244	122	187																																				
<p>▽スポーツ活動育成事業</p> <p>障がい者の社会活動への参加促進と生きがいの高揚を目的に活動しているスポーツクラブに対して活動費の助成を行った。</p> <p>実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>札幌ハンディキャップテニス</td> </tr> <tr> <td>ゲートボールクラブ</td> </tr> <tr> <td>アーチェリークラブ</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフクラブ</td> </tr> <tr> <td>卓球クラブ</td> </tr> <tr> <td>ボッチャクラブ</td> </tr> <tr> <td>水泳クラブ</td> </tr> <tr> <td>車いすバスケットクラブ</td> </tr> <tr> <td>ボウリング</td> </tr> </tbody> </table>	クラブ名	札幌ハンディキャップテニス	ゲートボールクラブ	アーチェリークラブ	パークゴルフクラブ	卓球クラブ	ボッチャクラブ	水泳クラブ	車いすバスケットクラブ	ボウリング	<p>計画どおり実施することができた。 9団体に活動費を助成した。</p>	<p>適切に実施されている。</p>																													
クラブ名																																									
札幌ハンディキャップテニス																																									
ゲートボールクラブ																																									
アーチェリークラブ																																									
パークゴルフクラブ																																									
卓球クラブ																																									
ボッチャクラブ																																									
水泳クラブ																																									
車いすバスケットクラブ																																									
ボウリング																																									

<p>▽機能回復訓練</p> <p>運動訓練、日常動作訓練、物療訓練を理学療法士・物理療法士各1名で実施した。実施状況は、つぎのとおりであった。</p> <table border="1" data-bbox="305 282 1073 717"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>運動・日常動作・物療</th> <th>水浴訓練</th> <th>自主訓練</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">平成28年度</td> <td>実施回数</td> <td>145</td> <td>85</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>2,467</td> <td>415</td> <td>1,091</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平成29年度</td> <td>実施回数</td> <td>140</td> <td>74</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>2,172</td> <td>214</td> <td>998</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平成30年度</td> <td>実施回数</td> <td>139</td> <td>98</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>2,042</td> <td>314</td> <td>692</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和元年度</td> <td>実施回数</td> <td>140</td> <td>86</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>1,991</td> <td>253</td> <td>549</td> </tr> </tbody> </table>			運動・日常動作・物療	水浴訓練	自主訓練	平成28年度	実施回数	145	85	190	延べ人数	2,467	415	1,091	平成29年度	実施回数	140	74	195	延べ人数	2,172	214	998	平成30年度	実施回数	139	98	195	延べ人数	2,042	314	692	令和元年度	実施回数	140	86	195	延べ人数	1,991	253	549	<p>備品等を細やかに点検、修理するなど、より利用者しやすく、安全な環境づくりに努めている。</p>	<p>適切に実施されている。今後も、必要に応じて適宜、備品等を更新するなど、利用しやすい環境づくりに努めること。</p>
		運動・日常動作・物療	水浴訓練	自主訓練																																							
平成28年度	実施回数	145	85	190																																							
	延べ人数	2,467	415	1,091																																							
平成29年度	実施回数	140	74	195																																							
	延べ人数	2,172	214	998																																							
平成30年度	実施回数	139	98	195																																							
	延べ人数	2,042	314	692																																							
令和元年度	実施回数	140	86	195																																							
	延べ人数	1,991	253	549																																							
<p>▽言葉の教室</p> <p>失語症の人を対象にグループ討論会などを通して総合的に言語訓練を行った。</p> <p>実施状況</p> <table border="1" data-bbox="305 929 1073 1117"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>202</td> <td>176</td> <td>140</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実施回数	12	12	12	12	延べ人数	202	176	140	110	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>																										
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																							
実施回数	12	12	12	12																																							
延べ人数	202	176	140	110																																							
<p>▽失語症聴能言語訓練</p> <p>指導員1名を配し、失語症障がい者を対象に自立促進と社会生活への適応力を高めることを目的に、発声や発語等の訓練を行った。</p> <p>実施状況</p> <table border="1" data-bbox="305 1328 1073 1505"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>43</td> <td>37</td> <td>35</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>延べ人数</td> <td>203</td> <td>195</td> <td>136</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	実施回数	43	37	35	33	延べ人数	203	195	136	110	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>																										
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																							
実施回数	43	37	35	33																																							
延べ人数	203	195	136	110																																							

▽音声機能訓練・指導者育成

疾病などによって喉頭を摘出して音声機能を失った人を対象に、コミュニケーションの円滑化を進め社会参加の促進を目的に発声訓練を行った。

実施状況

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
実施回数	41	37	30	28
延べ人数	780	680	577	465

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。

▽オストメイト社会生活訓練

ストーマ用装具を利用している人やその家族を対象に、社会生活に必要な知識を習得し、不安を取り除くことで社会参加の促進を図るための相談会を実施した。

実施状況

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
実施回数	11	9	10	9
延べ人数	216	236	212	205

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。

▽就職・結婚・身の上相談等

就職相談、結婚相談、身の上相談等、障がいのある方の各種相談に応じ、必要な助言・指導を行った。また、就職相談については、公共職業安定所等を紹介し対応した。

実施状況

(人)

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
就職相談	3	2	0	0
就職件数	0	0	0	0
結婚相談	39	18	21	10
身の上相談等	0	4	0	0

関係機関とも連携し対応することができた。

適切に実施されている。今後も相談窓口として、関係機関と連携し実績につなげること。

(5)施設利用に関する業務

▽利用人数

☆通常使用目的

(人)

室名	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績
体育館	11,255	10,208	9,146	7,588
卓球室	4,881	4,887	4,784	4,838
研修室	6,943	6,411	6,532	6,298
第1会議室	1,808	1,784	2,151	1,962
第2会議室	1,946	1,954	2,063	1,758
第3会議室	1,496	1,505	1,694	1,488
音楽室	4,600	4,457	4,317	3,478
和室	3,838	3,881	3,844	2,807
大会議室	14,636	12,529	12,542	10,744
合計	51,403	47,616	47,073	40,961

☆特定使用目的

室名	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績
料理実習室	820	886	810	721
陶芸実習室	1,710	1,684	1,601	1,601
パソコン室	1,754	784	846	839
合計	4,284	3,354	3,257	3,161

▽稼働率

☆通常使用目的

(%)

室名	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績
体育館	74.5	72.4	59.4	44.4
卓球室	43.3	40.8	39.3	43.3
研修室	51.9	54.2	52.3	50.4
第1会議室	37.0	38.6	42.6	39.6
第2会議室	41.6	52.0	52.2	47.7
第3会議室	45.0	38.9	45.2	35.4
音楽室	50.6	48.1	47.7	42.1
和室	39.0	40.3	43.3	40.6
大会議室	67.0	62.3	69.9	64.6

☆特定使用目的

室名	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績
料理実習室	12.3	12.5	12.0	9.8
陶芸実習室	25.4	26.4	26.8	26.8
パソコン室	28.6	25.5	24.3	24.3

登録者の高齢化も進んでいるため、ホームページ等の各種媒体を利用したPRにより、利用者の増加を図っていく。

A B C D
適切に実施されている。今後は、各種媒体を利用したPRを工夫し、利用者増加に向けた取り組みを行うこと。

▽身体障害者福祉専用バス（福祉バス）の運行

身体障がい者の行事等への交通移動支援として、車いすリフト付きバス及び福祉車両（車いす移動車）を運行し、身体障がい者の社会参加促進を図った。

		大型バス	中型バス
H28年度	件数（件）	166	123
	人数（人）	4,451	2,516
	走行距離（km）	11,338	8,314
	稼働率（％）	68.31	50.62
H29年度	件数（件）	176	147
	人数（人）	4,742	2,767
	走行距離（km）	12,147	9,646
	稼働率（％）	72.13	59.84
H30年度	件数（件）	160	144
	人数（人）	4,224	2,691
	走行距離（km）	10,463	10,967
	稼働率（％）	65.57	59.02
R元年度	件数（件）	149	142
	人数（人）	3,877	2,701
	走行距離（km）	9,702	10,705
	稼働率（％）	62.08	59.17

大型バスについては車両が老朽化していることから修理しながら運行した。

適切に実施されている。大型バスについては、今後も日常点検等を行い、更新等について検討すること。

		福祉車両（車いす移動車）		
		1号	2号	3号
H28年度	件数（件）	17	8	0
	人数（人）	73	27	0
	走行距離（km）	637	215	0
	稼働率（％）	7.00	3.29	0.00
H29年度	件数（件）	22	5	-
	人数（人）	113	17	-
	走行距離（km）	981	198	-
	稼働率（％）	8.61	2.05	-
H30年度	件数（件）	23	7	-
	人数（人）	111	22	-
	走行距離（km）	1,182	267	-
	稼働率（％）	9.43	2.87	-
R元年度	件数（件）	26	5	-
	人数（人）	123	18	-
	走行距離（km）	1,131	89	-
	稼働率（％）	10.83	2.08	-

	<p>▽障害者社会参加推進センター運営事業</p> <p>＜身体障害者関係各種会議（研修会）への出席＞</p> <p>(1) 日本身体障害者福祉大会 令和元年5月22日～23日（秋田県）</p> <p>(2) 日本身体障害者団体連合会理事会・評議員会 ＜理事会＞ 令和元年 5月 7日（東京都） 令和元年12月17日（東京都） ＜評議員会＞ 令和元年 5月22日（秋田市） ＜施策等検討委員会＞ 令和2年 1月31日（東京都）</p> <p>(3) 東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会 令和元年 6月20日～21日（山形市）</p> <p>(4) 政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会 令和元年 9月 7日～ 8日（札幌市） 令和2年 2月21日～22日（名古屋市）</p> <p>(5) 東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会 令和元年11月14日（福島県二本松市）</p> <p>＜身体障害者関係各種研修会の開催＞</p> <p>障害者別団体交流会研修会 令和元年11月29日（札幌市身体障害者福祉センター）</p> <p>＜民生・児童委員・地区福祉団体との懇談会出席＞</p> <p>令和元年 9月20日（西区西野地区：昭和会館） 令和元年10月21日（東区東地区：東区役所）</p> <p>＜札幌市障害者社会参加推進協議会＞</p> <p>令和元年 7月17日（札幌市身体障害者福祉センター）</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。今後も引き続き、障害者関係団体との交流会等を通じて、情報交換を行い、連携を深めていくこと。また、出席した会議等については、報告を行うこと。</p>				
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽広報業務</p> <p>施設のPRや情報提供のため、ホームページの更新等を行った。 また、小中学校の「総合的な学習」や「福祉に関する授業」、団体の施設見学者の受入を行った。センターに来館した児童・生徒・見学者に対し、身体障がい者の疑似体験や車いすの介助方法、福祉用具の説明等は札幌市の協力を得て行った。</p> <p>（主な受入団体）</p> <p>令和元年5月16日 倶知安中学校職場訪問（6名）</p> <p>令和元年8月16日 北海道大学教育学研究院臨床心理学講座(8名)</p> <p>令和元年9月12日 北海道科学大学理学療法学科臨床見学(50名)</p> <p>令和元年10月31日 北海道石狩翔陽高等学校（10名）</p> <p style="text-align: right;">合計74名</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>適切に実施されている。今後は指定管理者で説明できる部分を増やしていくこと。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽身体障害者福祉月間行事等

10月を「身体障害者福祉月間」とし、身体に障がいのある方の社会参加の促進や身体障がい者に対する市民の理解を深めていくことを目的に、次の各種行事を実施した。

(1) 文化祭

日ごろの障がい者の文化活動の紹介と地域の方々との交流を目的に、作品展示や楽器演奏等の催しを実施した。

日時 令和元年10月 6日(日)

場所 聴覚障害者協会

参加 約450名

日時 平成30年10月20日(日)

場所 肢体障害者協会、中途失聴・難聴者協会

参加 約400名

日時 令和元年10月27日(日)

場所 視覚障害者協会

参加 約300名

(2) 金婚・銀婚をねぎらう会

結婚25年・50年を迎えた人のお祝いと、その労をねぎらい対象者6組に記念品を贈呈した。

(3) ありがとうごくろうさまの集い

障がいを克服し、模範的自立更生を遂げた人に対して、これまでの労をねぎらい表彰を行った。

日時 令和元年10月23日(水)

場所 ホテルライフオーブ札幌

表彰者 札幌市長表彰 2名

身体障害者福祉協会会長表彰 5名

感謝状贈呈 1団体5名

(4) 未婚者の集い

身体に障がいのある人の結婚相談の一環として未婚者を対象に昼食会などを開催し、出会いと親交を深める機会を設けた。

	日時	会場	参加人数
第1回	令和元年9月28日	ANAクラウンプラザホテル札幌	中止
第2回	令和2年3月14日	ホテルライフオーブ札幌	中止

札幌市との合同開催で成功裏に終了することができた。

適切に実施されている。

未婚者の集いについては、女性の参加者が少なく1、2回目とも中止せざるを得なかった。

未婚者の集いの参加申込が少ないことについて指定管理者から事前協議の申し入れがあり、協議を行ったうえで中止しており、適切に実施されている。

2 自主事業その他				A	B	C	D
▽自主事業 ▼食事提供事業 売上高 2,735千円 (計画3,348千円) 利用件数 4,868人 (前年度売上高 2,824千円 計画 2,900千円)		新型コロナウイルスの影響で売上が昨年を下回ったが、1月までの売上は昨年を上回っていた。今後も新しいメニューなど工夫し売上増に努めたい。		適切に実施されている。			
▽市内企業等の活用・福祉施策への配慮等 警備、保守点検業務等の再委託は、市内の企業に、また清掃業務は、知的障害者を雇用している社会福祉法人に発注した。		市内企業、福祉団体を積極的に活用した発注をすることができた。		適正に実施されている。			
3 利用者の満足度							
▽ 利用者アンケートの結果				A	B	C	D
実施方法	7月8日～7月31日実施 来館者195名に配布(そのうち視覚障害者に配慮し、点字版11枚、拡大版5枚配布)して実施。(回答は、良い、どちらかといえば良い、どちらかといえば悪い、悪いの4段階評価) 回答者118人 (回収率60.51%)		各項目とも90%以上の高い評価をいただいた。アンケートの結果については、館内に掲示し利用者に周知した。		利用者アンケートの結果で、「全体の満足度」及び「接遇」に対する評価が高かったことについては、評価する。今後も引き続き、可能な限り利用者の要望に応えられるよう努めること。		
結果概要	全体の満足度は、要求水準が80%のところ99.1%の高評価を得た。 接遇については、要求水準が80%のところ97.3%で昨年を上回る評価だった。 その他、館内の清潔さ99.1%、教室・機能回復訓練室の利用100%、食堂の利用92.9%の満足度であった。						
利用者からの意見・要望とその対応	[要望] 各トイレにペーパータオルまたはドライヤーを設置してほしいと要望があった。 [対応] 今まで、すべての洋式トイレに温水暖房便座を設置するなど整備を進めてきたが、今後も段階的に整備していくが、現在のところペーパータオル等の設置は予定していない。		利用者からの要望については、真摯に受け止め対応した。指定管理者で対応が困難な事項については、その都度、札幌市と協議し対応した。				
	[要望] 音楽室もマイクを使えるようにしてほしい。 [対応] 大会議室、体育館以外のマイクの使用を希望される方は、ポータブルアンプの利用をお願いした。						
	[要望] 傘立てが汚い。 [対応] 昭和53年の開館時より使用しているものなので、傘立て、傘袋などを含めて検討することとした。						

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R1計画	R1決算	差(決算-計画)
収入	115,514	115,706	192
指定管理業務収入	115,514	115,706	192
指定管理費	115,334	115,334	0
利用料金			0
その他	180	372	192
自主事業収入			0
支出	115,514	115,706	192
指定管理業務支出	115,514	115,706	192
自主事業支出			0
収入-支出	0	0	0
利益還元			0
法人税等			0
純利益	0	0	0

予算執行にあたっては経費の節約に努めたが、利用に支障をきたさないよう、駐車場の除雪や車両整備等の支出が嵩んだが、他は概ね計画に沿って執行できた。

A	B	C	D

経費節減の努力を評価する。今後も引き続き、業務の効率化により、さらなる経費節減に努めること。また、施設設備の点検を行い、修繕、備品購入を計画的に行うこと。

▽ 説明

その他収入には、収益事業等会計からの振替額309千円を含む。
 支出については、役員報酬の改訂により人件費の減少、また、コロナウイルスの影響で教室開催を自粛したため諸謝金が減少した一方で、福祉バスの安全運行のための車両費や手作業による除雪業務により委託業務費が予算を上回ったため若干の予算超過となった。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

当協会の財務状況等は、経常収益は減少しているが、支出の削減で対応している。また、法人の管理運営資金として十分な固定資産を保有しており、安定経営能力を維持している。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

各条例の規定に則り、全て適切に対応した。

協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、適正に実施した。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>貸館については、体育館天井塗装改修工事やコロナウイルスの影響もあり、使用できない期間があり、利用者、件数、稼働率ともに若干減少した。福祉バスの運行についても、3月の利用中止にもかかわらず、前年度と同程度の稼働率であった。また、アンケート等による利用者からの要望については、可能な事柄から改善を図った。</p> <p>今後も引き続き、実施事業、利用者アンケート結果の分析、課題等について検討し、業務改善を図っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕等の実施 ・教養講習会等の事業の充実 ・相談事業のあり方についての検討協議 ・広報活動の充実

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>利用者の高齢化が進むなか、利用率の低下が懸念されるところであるが、過去3年間(H29～令和元年度)の福祉センター利用者数の推移を見ると、体育館天井塗装改修工事(令和元年5月20日から同年8月8日まで)による体育館の利用休止及び新型コロナウイルスの影響で貸館等の利用休止(令和2年2月28日から)の影響から、令和元年度の利用者数は昨年度より一割近く減っている。今後も引き続き、利用者数の増加につなげるべく、ホームページや広報さっぽろ等を通じて情報発信し続けることが必要である。</p> <p>また、利用者アンケートの活用等により、利用者の要望を把握しつつ、更なる利便性の向上に向けた取組を行うよう指導したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備、備品等の老朽化に伴い、計画的に優先度の高い設備等から順次更新を図るべく、検討すること。 ・利用者のニーズに合った新しい教室開設について検討すること。 ・接遇研修を行い、利用者への接遇力向上に努めること。